



新型バキューム 取り扱い説明書

(TYPE / BK-SB01A)

〒600-8885 京都市下京区春日七条下る一筋目西入る

株式会社 サン京都

TEL (075) 315-2808 (代) FAX (075) 321-1895

URL <http://www.sunkyoto.com>

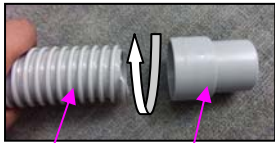
MAIL info@sunkyoto.com

【吸引機本体 接続方法】

(吸引側)

(写真27)

吸引口 ①
ホースを付けて吸引台と接続。



ホース

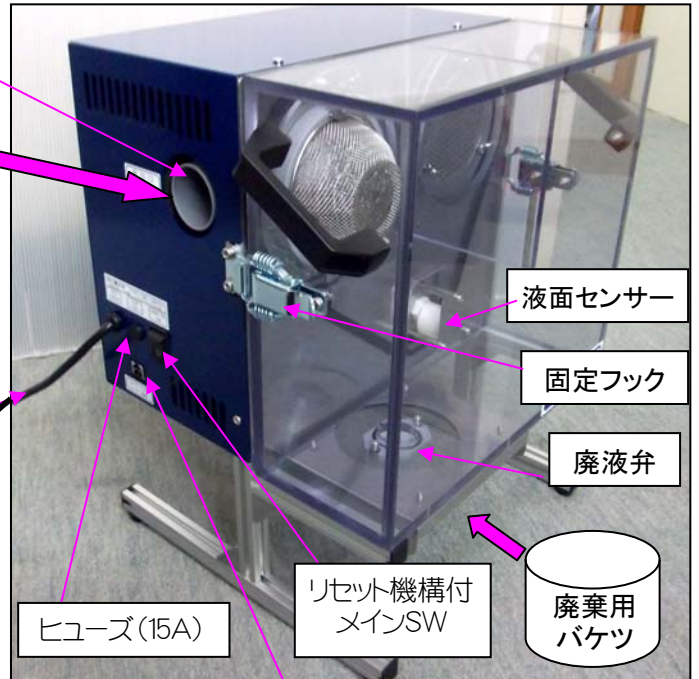
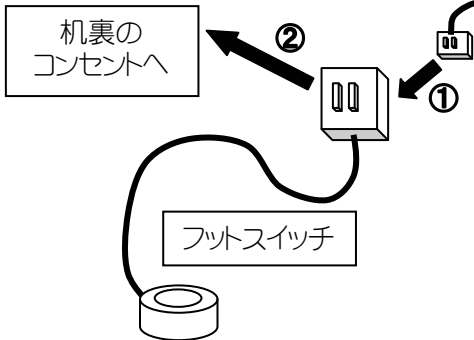
アダプター



アダプターを付けて
本体吸引口へ接続

電源コードは付属のフットスイッチに接続してから①
机裏のコンセントへ接続して下さい②。

(注意)ドライヤーの配線と同じコンセントに
ならないように!!



コントロールBOXと接続

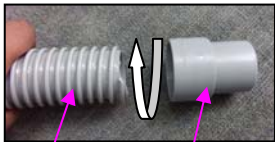


(排気側)

(写真28)

モーター冷却用 吸引口③
絶対にふさがらない様に注意!(週に一度の点検を)

臭気排気口 ②
ホースを付けて室外へ。

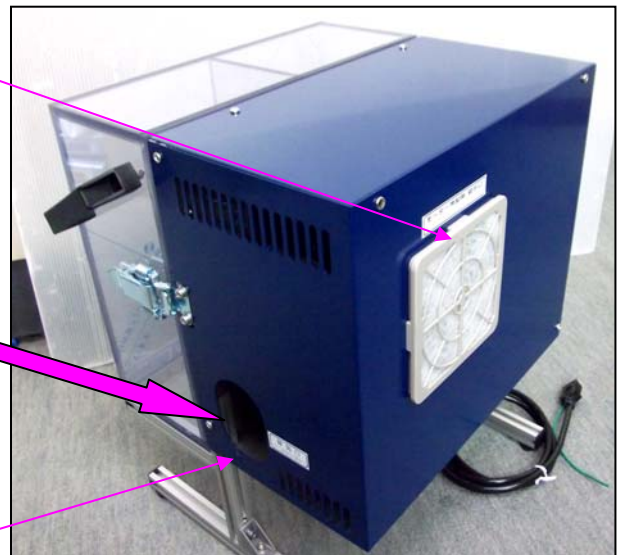


ホース

アダプター



アダプターを付けて
本体排気口へ接続



(排気ホースは、付属のインシュロックを使用して本体に固定します。)



予め本体側に付属のインシュ
ロックを通しておきます。



ホースにジョイントを付けて、
排気口へ接続します。



ホースが抜けないように
インシュロックで固定します。

{ 電源接続 }

- ① 付属のフットスイッチのコネクターに一度差し込んでから、机裏の100Vのコンセントに接続して下さい。
ドライヤースタンドと併用される場合は、机裏の1つのコンセントに同時に差し込まずに、吸引機本体とドライヤーのコードを2本別々のコンセントに差し込むようにして下さい。
(机裏コード1本の電気容量は計1500W迄の為、ドライヤー(1200W)と吸引機本体(1050W)を同時に差し込むと容量不足になります。)
- ② 吸引機本体のスナップスイッチはONにしておき、フットスイッチでON/OFFの操作をします。
- ③ 机に取り付けてある(SETの場合)吸引力コントロールBOXのコードを吸引機本体に接続して下さい。
(コントロールBOXを接続しないと、吸引機本体は作動しませんのでご注意ください。)

吸引力コントロールBOX

【切替 SW】
MAX ⇒ モーターフル回転
調整 ⇒ 調整ダイヤルにより吸引力が調整可能(ランプ ON)

【便利な利用方法】
薬品塗布や色差し等の時は、切替 SW を調整の位置にしてモーターの回転を下げておき、その後洗浄時にはMAXの状態にして、モーターをフル回転にしてご使用下さい。
(調整ダイヤルを回して回転を上げる必要がありません)

任意の位置に調整

(写真29)

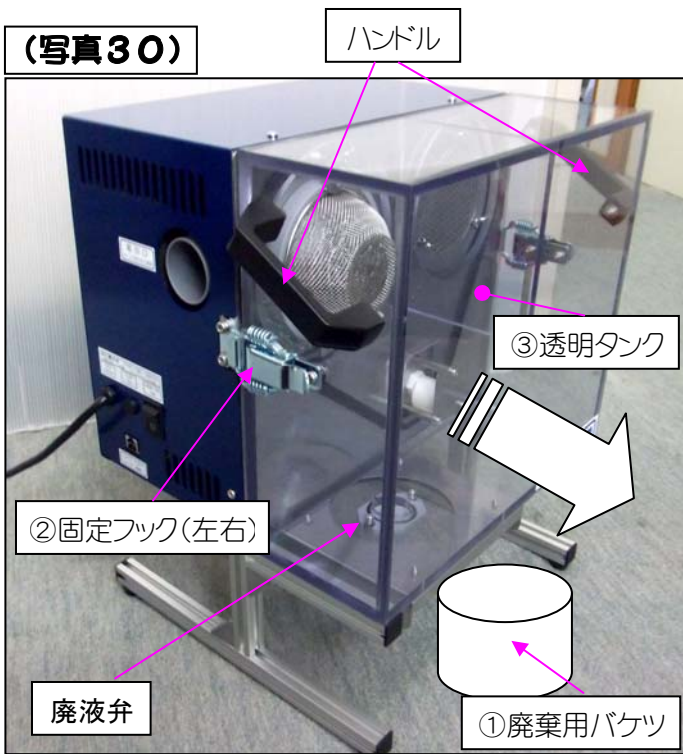
{ ホース接続 }

- ① 付属のホースを適当な長さに切って、アダプターに接続後(写真27)の吸引口①に差し込み、吸引台と接続して下さい。
- ② 付属のホースをアダプターに接続後、(写真28)の臭気排気口②に差し込み室外へ出して下さい。
ホースは出来るだけ短い方が吸引力が強くなります。
排気ホースはあまり上へ上げない様に、又、90°以上曲げない様にして下さい。
- ③ モーター冷却用 吸引口③(写真28)は、モーター冷却装置の吸排気口になっていますので、絶対にふさがないようにして下さい。
特にフィルターにはごみがたまりやすいので、週に一度の点検をして下さい。
(モーター焼付の原因になります。保証期間内でも保証対象外になります。)

{ タンク内の液体 }

- ① 吸引した液体は透明タンク内に一時溜まり、バキュームを停止させた時点で廃棄弁が開き下の廃棄用バケツに排出されます。
よって、廃棄弁が汚れていたりすると上手く排出できませんのでご注意ください。
(廃棄弁のメンテナンスについては別項をご参照下さい)
- ② 使用頻度によりますが、バケツが一杯にならないように、溜まった廃液は頻りに捨てて下さい。
- ③ 万が一廃棄弁が上手く働かず排出できない場合(A)や、吸引を長時間止めずに使用した場合等、吸引した液体がタンクの許容量を超えると安全センサーが働きモーターが自動でストップします。
A) 廃棄弁が上手く働かない場合は、溜まった廃液を排出することが出来ません。
(写真 30)を参考にタンク内の廃液を廃棄して、タンク及び廃棄弁を洗浄してください。
- ④ 安全センサーが働いた場合、そのまま続けて使用することが出来ません。
その場合は、本体横のメインSWを一旦OFFにしてから再度ONして下さい。
(メインスイッチがリセット機能を兼ねています。)

【吸引機本体 各種メンテナンス ①】



【透明タンクのメンテナンス】

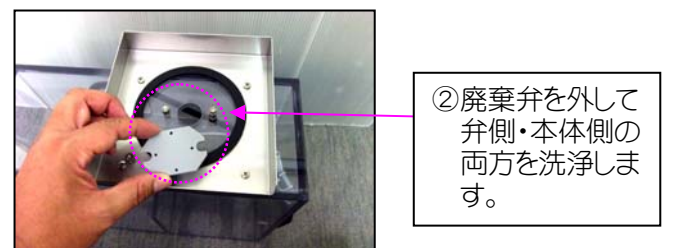
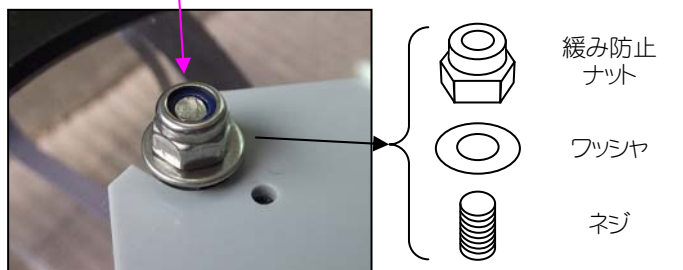
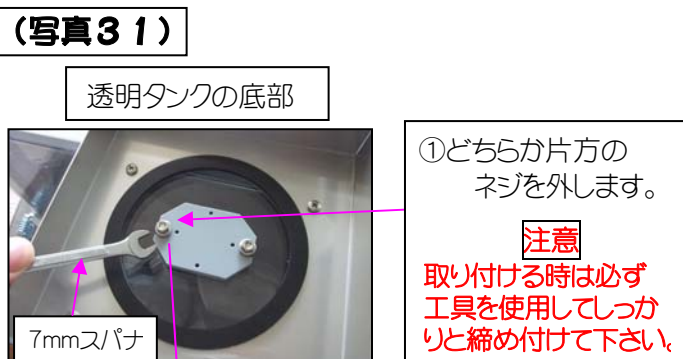
透明タンク内が汚れてくると、廃液弁にも汚れが溜まり吸引した液体が上手く排出されなくなりますので、汚れが目立ってきたら透明タンクを洗浄してください。

《透明タンク着脱方法》

- ① 廃棄用バケツを外す。
- ② 左右の固定フックを解除します。
- ③ ハンドルをしっかり持って、手前方向にスライドさせて取り外します。
- ④ 水道水等で内部や廃液弁部をきれいに洗浄してください。
(廃液弁部の洗浄は別項目参照)
- ⑤ 取り付ける場合は①～③の逆の順序で取り付けして下さい。

注意

底部に少し廃液が残留している時があります。透明タンクを取り外す時、その残留液が廃液弁よりこぼれない様にご注意ください。

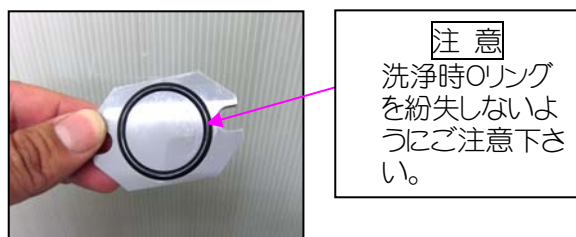


【廃液弁のメンテナンス】

- ① 廃液弁を止めているネジのどちらか片方を外します。
- ② 外した廃液弁を、Oリングが外れて紛失しないように注意しながら、きれいに洗って下さい。

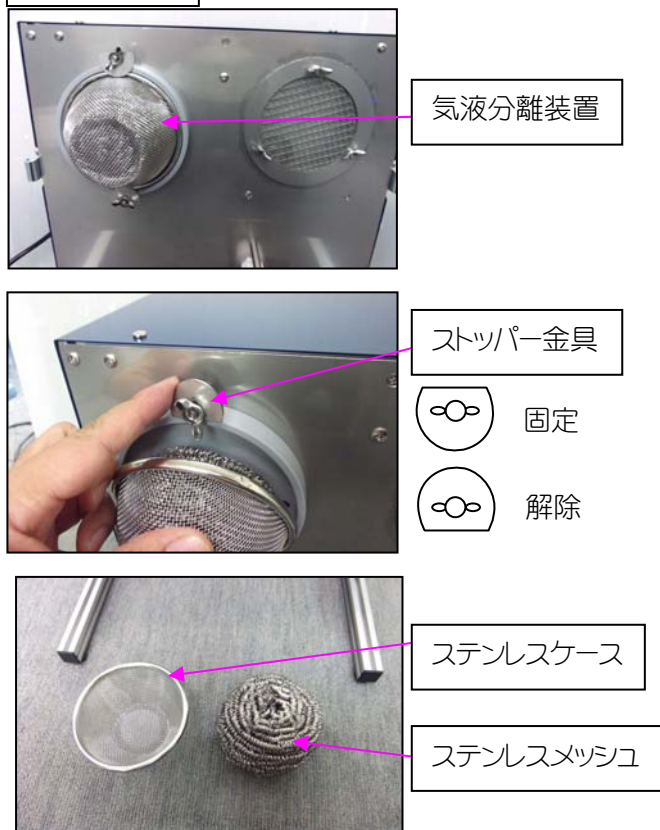
注意

- ① 外れたOリングをはめる場合は、均等にしっかりとめ込んでください。
- ② 廃液弁を取り付ける場合は、必ず工具等を使用してネジをしっかり締め付けて下さい。締め付けが不十分ですと振動により廃液弁が外れ落ちてしまい、吸引力が極端に弱くなってしまいます。



【吸引機本体 各種メンテナンス ②】

(写真32)

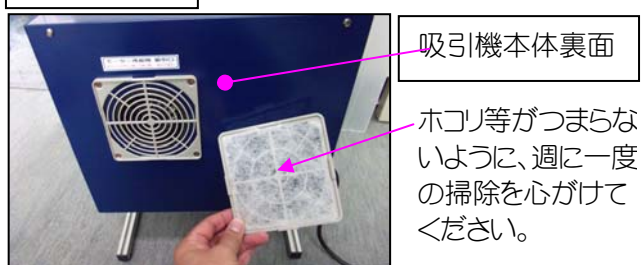


【気液分離装置のメンテナンス】

気液分離装置部分に汚れが付着していると、吸引力が弱くなったり、モーターに負荷が掛かったりしますので、分解洗浄して下さい。

- ① 蝶ネジを緩めるとストッパー金具が回り、ステンレスケースとメッシュが取り外せます。
- ② 取り外したステンレスケースとメッシュを、水道水等で洗浄してください。
- ③ 取り付けは逆の順序で行ってください。

(写真33)



【冷却口フィルターのメンテナンス】

本体裏面に設けてある、モーター冷却用空気取り入口部フィルターが目詰まりすると、モーターの冷却効率が悪くなり、最悪の場合モーターの焼く付きを起こす場合がありますので、週に1度の掃除をお願いいたします。

(モーター焼付の原因になります。
保証期間内でも保証対象外になります。)

【吸引機本体 各種メンテナンス ③】

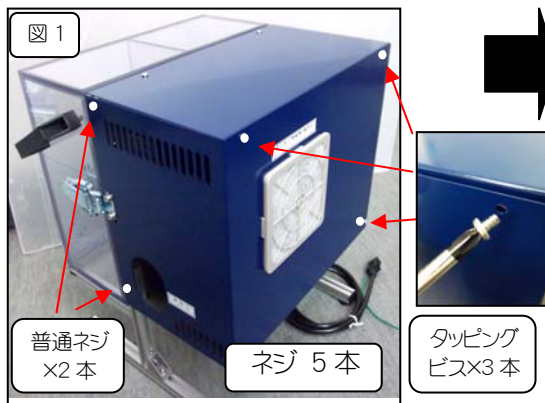
【カーボンブラシ 交換図】

吸引機本体が動かなくなった場合は、吸引機本体内部のモーターに付いているカーボンブラシの消耗が考えられますので下記の説明を参考にカーボンブラシを交換して下さい。

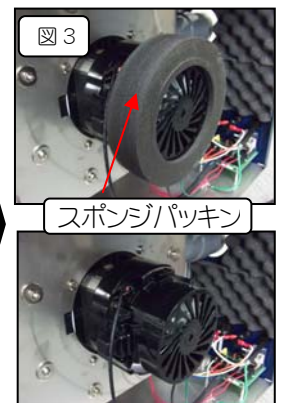
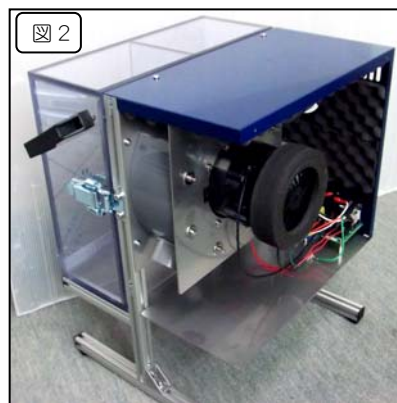
※ カーボンブラシを交換する前に下記の事項をチェックして下さい。

- ① 本体スイッチのON/OFF (吸引機本体側面に付いているスナップスイッチがONになっているか)
- ② フットスイッチの不良 (吸引機本体から出ている黒い電源コードを、フットスイッチを通さずに100Vのコンセントに直接差し込んで、吸引機本体が動けばフットスイッチの不良です)
- ③ ヒューズ切れ (吸引機本体側面に付いている15アンペアのヒューズが切れていないか?)

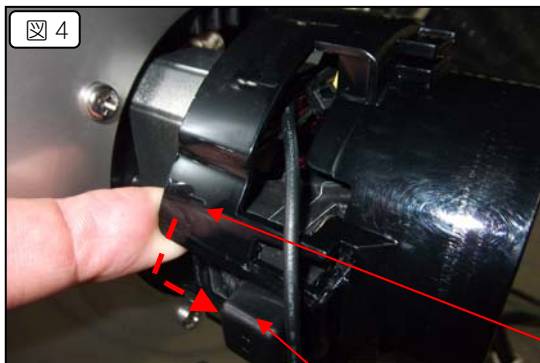
カーボンブラシを交換する場合は、必ず電源プラグを抜いてから作業を行って下さい。



① (図1)の5箇所のネジを外すと、L型のふた部分が取り外せて、モーター本体が見えてきます。(図2)



② モーター本体の上部に付いているスポンジパッキンを取り外します。

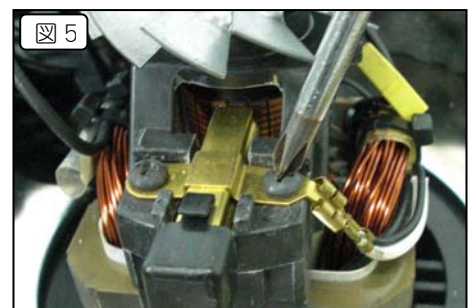


手前へ引きながら上へ押し上げる。

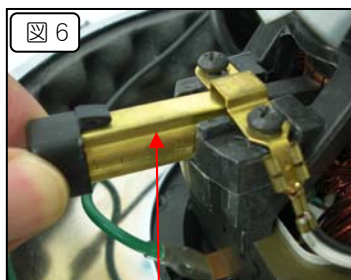
カーボンブラシ

プラスチックカバー

③ プラスチックカバー下部を指で外方向に引きながら押し上げるとカバーが外れます。(反対側の部分も同じように外します)



④ カーボンブラシを押えている金具を、+ドライバーを使用して緩めてカーボンブラシを外し交換して下さい。



カーボンブラシホルダーごと交換する



突起部を合わせる

上

下



⑤ コードを挟まないように注意しながらプラスチックカバーを閉めます。

⑥ 図3を参考にして必ずスポンジパッキンを取り付けます。

⑦ 図1を参考にL型のふたを取り付けます。

故障かな?と思う前に・・・(バキュームシステム編)

症 状	原 因	対 処 法
バキュームが動かない	本体側のメインスイッチがoffになっていませんか? 吸引力コントロールBOXは接続されていますか? ヒューズがきれていませんか? 吸引した液体が満タンになって、液体センサーが作動してないですか?	→吸引機本体のSWはONにしたまま、フットSWにてON/OFFします。(写真27を参考) →吸引力コントロールBOXが接続されてないと吸引機本体は動きません。写真 27 を参照に接続して下さい。 →(写真 27)を参照。 →液体センサーが作動した後は、一度メイン SW を OFF/ONして安全装置をリセットさせないとバキュームは動きません。(写真 27)を参照。
	フットスイッチが故障していませんか? フットスイッチの配線が間違っていないですか?	→吸引機本体の電源コードを、フットスイッチのコネクターを通さずに直接コンセントに差し込んで下さい この状態で動くようでしたら、フットスイッチの故障又は配線不良が考えられますので、フットスイッチを交換または配線チェックして下さい。 (ナショナル まごの手フットスイッチ)
	カーボンブラシが接触不良又は消耗していませんか?	→上記確認をしても動かない場合はカーボンブラシの接触不良又は消耗が考えられますので付属のカーボンブラシと交換又は点検してください。 (説明書は付属のカーボンブラシに同封) 接触不良の場合は、別紙説明書を参考にしてカーボンブラシを一度取り外して、ブラシホルダー内部のカーボンのカスをエアで吹き飛ばすか、掃除機等で吸い取ってからカーボンブラシを取付けて下さい。
バキュームの吸引力が弱い	気液分離装置が目詰まりしていませんか? 透明タンク下部の廃棄弁は、正常に機能していますか? 吸引力コントローラーが弱くなっていませんか?	→(写真 31)を参考に、気液分離装置を掃除して下さい 汚れがひどい場合は交換をお勧め致します。 →振動等により取り付けネジが緩んで、廃棄弁が落下等して廃棄弁が上手く作動していないと、透明タンク内の真空が保たれずに吸引力が極端に弱くなってしまいます。 (写真 31)を参考に確認・取り付け洗浄して下さい。 →(写真 29)を参考にコントローラーを調整して下さい。
	吸引のホースが外れていませんか?	→(写真 27)を参考に、本体と吸引台をしっかりと接続して下さい。